支部長会議に参加しました！

１０月５日～６日、神戸市勤労会館（三宮）で２０１９年度支部長会議が開催されました。４５支部が参加。１日目は全通研からの情勢報告、差別解消法について、弁護士の藤木　和子氏による講演「障害者差別解消法～新時代の“共に生きる・歩む“～」。その後８つのグループに分かれてワーク。生活場面でよくある３つ（病院・駅・不動産屋）がテーマでした。各グループの発表により理解を深めました。事例を沢山集めることや、一人ではなく団体で連携していくことの大切さを学びました。厚生労働省や国土交通省などにガイドラインが定められているそうです。まずは、建設的な対話ができるテーブルにつくことが大切。また、差別を受けたと相談が来たら、まず「差別的な取扱い」と「正当な理由」について検討するのがポイントだと分かりました。藤木弁護士は弟さんが聴覚障害者であり、全通研の会員でもあられます。新しく出版された「手話でＧＯ！ＧＯ！合理的配慮」にも執筆されています。

　夜は、南京町へ移動。雅苑酒家にて交流会。近畿ブロック担当によるゲームもあり、飲んで食べて、語らい、楽しく交流を深めました。

二日目は４つのグループに分かれて課題別討議。今まではテーマを希望して分れていましたが、今年は、「手話通訳制度について」と「組織について」の２つを各グループで討議するスタイルになり、８５分を２回やりました。

グループメンバーは同じですが、担当の理事も変わり、新鮮で良かったです。

全体会締めくくりとして近藤副会長の挨拶を聞き、会員として、支部として身近なところから社会に広く目を向けていかねばならないと改めて思いました。

「何のために会員を増やすのか？」会員が増えれば支援者が増えます。全通研の活動、支部としての活動を、理解してもらい仲間になってもらえるよう、これからもみんなでコツコツと頑張っていきたいと思います。

２年ぶりの支部長会議。昨年は台風のために中止でした。今年はお天気にも恵まれ、会議に参加できたことに感謝です。共に楽しく学べた支部長会議、「後期もがんばりましょう！」と笑顔で別れて各々地元に帰りました。わずか１週間後、台風１９号の甚大な被害が起きようとは！全国で７１の河川が氾濫したと聞きます。この災害でお亡くなりになられた方も多く、東日本では８年前の津波を思い出されたのでは？被災を受けられたみなさん、最愛の人を亡くされたご遺族のみなさんに心からお見舞い申し上げます。被災地の支部は、みなさん今頃どうしてあるのでしょうか？？豪雨の被害や支援は本当に大変です。各支部の被害がとても気になりながらニュースを観ています。また週末は大雨の予想。どうか無理をされませんように。福岡からも心を寄せています。全国に仲間がいることを心の内に留めていただけたらと思います。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　杉野　有美子